

爪引込式

驚異の **高精度** 飛越し把握機能

OPA-スイングチャック PAT.P 旋回ピンアーバーチャック®

口元の大きいワークの飛越し把握に！

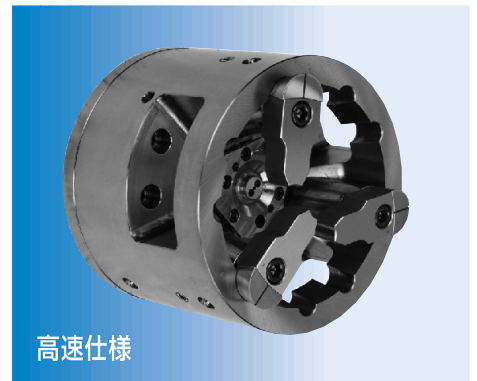
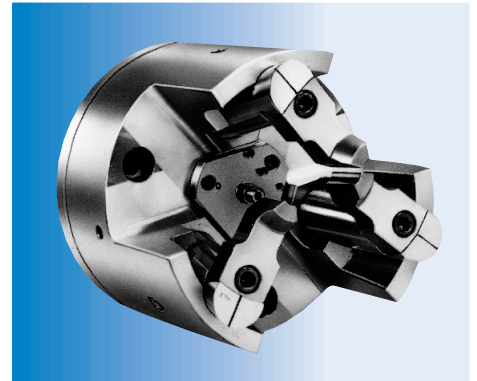
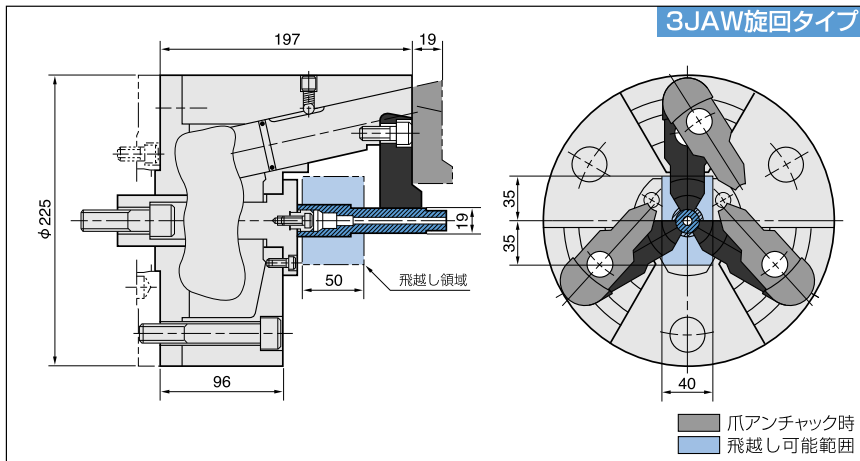
OPA-スイングチャックは、高精度の引込み把握機能でご好評を頂いているOPA [外径ピンアーバーチャック] の爪に旋回機能を持たせ、口元の外周部が把握外径より大きいワークを高精度に飛越し把握できる量産対応デザインチャックです。

使用条件に合わせたオールデザインで旋回方向や旋回角度などもワークの条件に合わせてデザインします。また、前からの飛越し把握だけでなくチャック側面からのワーク挿入ができますのでワークの自動装着方法の選択に幅ができます。

- 旋回機構を付加しても、OPAの性能 [高精度・引込機能・把握安定性等] には影響しません。

実施例 1

把握径φ19に対し、口元寸法70×23を飛越し把握します。3.5倍ある縦寸法を通過させるため、個々の爪は下図のように旋回角度・方向が異なり、またNo.1の爪を先に旋回させて爪同士の接触を防ぎます。口元は内径 [H7公差] をボス付ストッパーで受けており要求同心精度0.03TIR以内、要求回転数3500min⁻¹でワークのアンバランスはワークを位置決めして動バランス修正しています。なおアクチュエータ作動量は27mmに設定しており、ストローク量30mmの汎用回転シリンダをご使用頂けます。



実施例 2

口元径φ70、把握径φ30のワークをチャック側面から挿入し、ガイドで仮受した後、引込把握します。口元は端面基準付スプリングセンタで受けており、加工後の要求同心精度は0.01TIR以内です。下図のように爪の2カ所を旋回させ、ローダを使用して爪に干渉する事なくワークのφ30把握部を通過させ仮受け台まで持ててきます。なお、アクチュエータ作動量は22mmで、一般的な回転シリンダをご使用頂けます。

